

入居企業紹介 その203

SICに入居されている企業様をご紹介します。

“ 音楽に携わる人たちに、科学で貢献する! ”



【Desk10会員プロフィール】

ホルソナー・レヴェルベラシオン
代表 本多 利正 (ほんだ としまさ)

本多さんは生まれも育ちも東京都墨田区です。実家の周りには町工場が多く、工場で稼働する加工機械の独特の動きや部品や製品が作られている光景が日常にある環境だったとのこと。当時、食料品スーパーはまだ少なく、八百屋や鮮魚店などがある商店街が通学路で、パン屋さんのミキサーを見ては生地をまんべんなくこねる機構に見入ったり、玩具や家電製品などを分解して物の構造を知ることが好きだった少年時代でした。運動も好きで、剣道や機械体操、登山やテニスなどにも取り組みました。日本経済が急成長し、新しいものが次々と現れていた頃は刺激が多く、知的好奇心を掻き立てられていたと、本多さんは当時のことを振り返ります。

屋号であるホルソナー・レヴェルベラシオンは本多さんによる造語です。ホルソナーは「ホールと音響」、レヴェルベラシオンは「反響、または残響」を意味する言葉の組み合わせです。ホルソナー・レヴェルベラシオンにつながる原体験は、バイオリンを習ってはいましたが、あまり好きではなく、お兄様に半ば強制的に連れていかれた教会でのことです。弦楽による伴奏付きの讃美歌が、教会という建物の中で美しく響き渡っていた瞬間の衝撃と感動は、今も鮮明に刻まれています。

【技術者として経験を重ね、起業という道を選ぶ】

大学・大学院では生産機械工学を学びました。今は広く普及しているNC加工(数値制御numerical control machining)が先端的な技術として大学でも研究が行われている頃で、本多さんは加重による物体の変形や位置ずれなどを研究テーマにして大学院を修了し、大手光学機器メーカーに就職。非球面形状を成す光学部品を生産するための生産技術部

門に所属し、国内の様々な工場に設備を導入するための仕事に従事しました。また、米国政府による「軍事技術の民生品への転用政策」の一環で、軍事産業関連メーカーの技術を受け入れるため、米国に渡って技術調査も行いました。技術の現場の仕事よりもマネジメントの仕事が増えてきた頃、他社の技術職に就いていた大学時代の友人の転職先である特許業界が「技術革新を目の当たりにできる環境であること」を知り、本多さんも特許事務所に身を移すことを決意しました。折しもデジタルカメラが急速に普及し始める頃で、光学系部品の進化とデジタル技術の進展、メモリの大容量化、さらには価格競争に向けた量産化技術など、目まぐるしく変化する成長・発展分野で知財関連の専門業務に携わりました。

特許事務所での業務にあたる傍ら、個人で音響関連のサービス事業も行い、音楽家や音大生向けの新たな製品・サービスについての構想を開始。2022年1月にDesk10に入会して、開発を進めています。

【“発せられた音”をより豊かなものにする会社】

音と人、および音と人の生活は、密接に関係しています。自然の中から発せられる音や街の喧騒など、それぞれが人の心にあらゆる影響を及ぼします。また、音律(音楽に用いる音高の相対的な関係の規定。“ド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ・シ・ド”は音の高さを7つに規定したもの)からなる音楽は、人間に多様な感情を注ぎます。現在は開発途中にあるため、詳しい紹介ができませんが、自らも様々な音楽に身を浸すこと多い本多さんならではの技術が、音楽に傾倒できる環境を実現させます。さらには、SDGsにも目を向け、豊かで持続可能な未来社会に向けて、ホルソナー・レヴェルベラシオンはその一事業体として貢献していきます。



ジャンルを問わず文献調査を行うことで、様々な視点から「音楽」を捉えています

ホルソナー・レヴェルベラシオン
Desk10 会員

あなたのお部屋にコンサートホールをお届けします。

ホルソナー・レヴェルベラシオン

入居企業トピックス

3月の新聞掲載記事紹介(3月28日時点)

新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。
ご紹介する記事はSICに掲載していますので、ご覧ください。
また紙面に掲載された場合、スタッフに教えていただけると幸いです。

3月号 株式会社F-Design 相模原商工会議所会報
―市内企業のロボットを実証―

3月 3日 DiNOV株式会社 神奈川新聞
―ビジネススウェーブ
超微小液滴転写装置「フェムト・スポッター」―

3月 8日 株式会社F-Design 日刊工業新聞
―施設農園に車輪移動型ロボ―

3月10日 高瀬総合法律事務所 かながわ経済新聞
―事業承継と株式に関わる課題の解決①―

3月10日 株式会社F-Design 神奈川新聞
―農業用ロボット商品化へ―

3月10日 株式会社F-Design 相模経済新聞
―ロボットベースの農業活用検証
旋回や走破性強みに―

3月28日 ABB株式会社 日刊工業新聞
―仮想でロボ技術教育―

3月28日 HW ELECTRO株式会社
―HWエレ、先行予約開始―

ゴールデンウィークの休業について

センター事務室のお休みについて

休業日

4月29日(土)～4月30日(日)

5月3日(水)～5月7日(日)

※キッチンラボ・移動販売の営業は、別途カレンダー等でお知らせします。

ゴミ収集のお休みについて

休業日 5月5日(金)



SIC-3消防訓練のご報告

3月14日にSIC-3で実施した消防訓練にご参加いただきありがとうございます。当日は5社19名の方に参加いただき、水消火器・煙ハウス体験を行いました。消防署の方もおっしゃっていましたが、改めて災害に備えて2点確認をお願いします。

- ・お部屋から一番近い消火器の位置を確認してください。
- ・火災が発生した場合は背を低くして壁依りに避難してください。

編集後記

A(ラ)音440ヘルツはピアノ調律の基準で、これにちなみ、(April)4月4日はピアノ調律の日になります。お話を聞いた本多さんは、音をより豊かに響かせるよう科学で解明しています。ドレミの音程は鍛冶屋の音からピタゴラスが発見したことが起源だそう。ピタゴラスのように皆様の叡智が新年度の出会いで響くよう期待します。(佐藤)

★ご意見・ご感想をお待ちしています。 電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ:https://www.sic-sagamihara.jp
発行元:株式会社さがみはら産業創造センター(SIC) 〒252-0131 相模原市緑区西橋本 5-4-21 E-mail:koho@sic-sagamihara.jp

SIC空室情報 (令和5年4月1日 現在) ※お気軽に稲垣・大谷までお問合せください

	部 屋	空室数	賃料/月額 (共益費・消費税込)
SIC-1 Startup Lab.	○セミラボB(31.5㎡)	1※1	108,240円
	○スモールオフィスB(17.3㎡)	1	70,620円

※1 令和5年5月より入居可能
最新の情報はHPをご確認ください。

SIC 経営塾

「ニュービジネスリーダー」育成セミナー
22年目のSIC経営塾
3月募集開始!

時代に打ち勝つ『経営力』の育成を目的として、平成14年(2002年)に開講したSIC経営塾は、これまでに200名以上の方が受講し、経営塾で学んだことを経営の場で実践しながら第一線で活躍しています。

本年も、7月からの全10回の講義で、先端的な企業のケーススタディーを通じ、経営の理論と実践を学ぶとともに、塾生自らが事業構想を再構築することにより、「真の経営力」を育成することを最終目的としています。

【開催期間】 令和5年7月～令和6年2月 全10回

【会 場】 さがみはら産業創造センター、サン・エールさがみはら他

【対 象】 中小企業経営者および
経営者に準ずる経営幹部

【受講料】 220,000円(税込)

【担 当】 中村 浩(内線:1001)・片山(内線:2021)



SIC職場リーダー養成塾

令和5年度塾生募集!!

第17期を迎えるSIC職場リーダー養成塾は、業種の異なるリーダーとの他流試合やコミュニケーション研修、社内実践による職場の課題解決への取り組みを通して、職場リーダーとして周囲を巻き込み『組織で成果を出す』力を養成することを目的に開催しています。これまでに、103社・250名が修了してきました。職場リーダーとしてスキルアップを目指す皆様の受講をお待ちしています。

【開催期間】 令和5年6月～令和5年12月

【会 場】 さがみはら産業創造センター、サン・エールさがみはら他

【対 象】 中小・中堅企業の職場リーダー
及びリーダー候補

【受講料】 129,800円(税込)

【担 当】 五島(内線:2027)・樽川(内線:2023)